

2020年9月28日

株式会社常磐植物化学研究所

新規医薬品・食品開発に向けた産学の共同研究：

## 新型コロナウイルスに対する *in vitro* スクリーニング 植物エキス・植物由来成分の特許出願を完了

医薬品・機能性食品・化粧品・研究用試薬における植物化学（ファイトケミカル）製品の専門企業である株式会社常磐植物化学研究所（千葉県佐倉市木野子 158 番地、代表取締役社長 立崎仁）は、横浜市立大学医学部微生物学教室の梁明秀教授と共同で、同社が保有する植物資源ライブラリー《植物エキス・植物由来成分》を用いた新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対する細胞試験を実施した。

その結果、植物エキス 8 種、植物由来成分 4 種について SARS-CoV-2 に対する（感染）阻害活性が見出され、これらに関する特許出願は既に完了した。植物資源ライブラリーは、未知の病原に対して高い確率で有効性が示唆されており、治療困難な疾病に有効な研究手段になり得る。

本研究は細胞レベルで行われたものであり、ヒトに対する効果を示したものではない。なお、研究・医療現場の混乱を防ぐため、本件に関する詳細は一定の研究成果が得られた段階で公表を予定している。

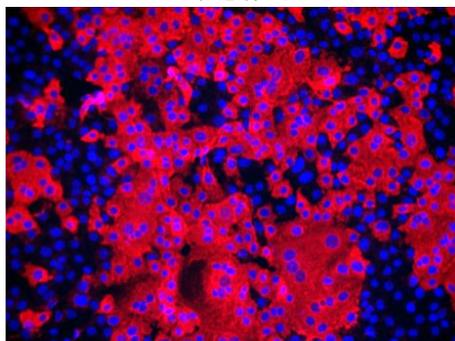
この件に関するお問い合わせ先：

株式会社常磐植物化学研究所 研究開発部

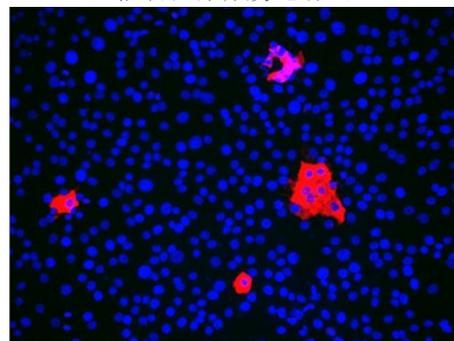
千葉県佐倉市木野子 158 番地

E-mail：[info@tokiwaph.co.jp](mailto:info@tokiwaph.co.jp)

細胞に新型コロナウイルス  
のみを添加



細胞に新型コロナウイルスと  
植物由来成分を添加



※新型コロナウイルスのNタンパク質に対する抗体を用いた免疫染色  
※写真中、赤く染色された部分が新型コロナウイルスに感染した細胞